【公表】

|  |
| --- |
| **進捗状況の概要　（１ページ以内）** |
|  |

|  |
| --- |
| **（１）大学院の改革方針を踏まえた事業の実施基盤の構築状況（３ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **事業を実施する部局等にとどまらず、全学的な責任・協力体制の下で事業計画の実現に向けた学内外機関（代表校及び連携校・連携先機関）との組織的連携に基づく実施体制が整備されているか。また、事業の実施体制は、大学院全体の改革方針を踏まえたものとなっているか。【実施体制】**
 |
|  |
| 1. **事業計画の進捗、達成状況に関する現状把握・分析を行い、その結果を基に事業計画の改善や見直しを行う評価体制が整備されているか。【自己評価体制】**
 |
|  |

|  |
| --- |
| **（２）事業の具体的な取組の進捗状況（10ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **以下の評価項目に則して、各年度の計画に基づき、取組は着実に進捗しているか。【取組の進捗状況】**
 |
| ●代表校及び連携校・連携先機関といった学内外の関係者間において、事業の趣旨・目的及び養成する人材像について、適切な共通理解が図られているか。●採択プログラムの構築が当初の構想・計画に沿って順調に進捗しているか。●採択プログラムの規模については、当初の構想・計画に沿ったものであるとともに、20名以上の学生、４名以上の教員及び１名以上のプログラムコーディネーター（URA等）が参画する水準となっているか。●複数の研究科や専攻と連携したPBL教育（キャップストーンプログラム等）や共同研究など、実社会での価値創生を目指したチーム型教育研究体制が積極的に進められているか。●組織的な就職支援体制が構築され、修了者のキャリアパス開拓・拡大に向けて有効に機能しているか。●ネットワーク型の教育研究体制の構築を積極的に行う教員に対し、業績評価やこれに伴うインセンティブ付けを行うための仕組みが整備されているか。●学位プログラムを構築する事業計画である場合、学外からの審査委員の登用等による開かれた円滑な学位審査プロセスを整備し、社会ニーズに応じた学位プログラムを構築するものとなっているか。●修了者が身に着けるべき能力（トランスファラブルスキル等）の修得状況について、学生が活用可能な形で見える化される取組となっているか。●（その他）特筆すべき取組等。 |
| 1. **申請時に設定した目標に対する達成度は、事業計画に沿った実績となっているか。【目標に対する達成度】**
 |
| 【採択プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標の達成状況】1. 達成目標

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 項　目 | 申請時 | 中間評価時（令和７年３月31日時点） |
| 内　容 | 達成状況 | 備　考 |
| １ | ○○○ |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |

1. 評価指標（アウトプット・アウトカム）※必須指標、任意の指標の別を明記してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 項　目 | 申請時 | 中間評価時（令和７年３月31日時点） |
| 内　容 | 達成状況 | 備　考 |
| １ | 【必須指標】○○○○ |  |  |  |
| ２ | 【必須指標】○○○○ |  |  |  |
| ３ | 【必須指標】○○○○ |  |  |  |
| ４ | 【必須指標】○○○○ |  |  |  |
| ５ | 【任意の指標】○○○○ |  |  |  |
| ６ | 【任意の指標】○○○○ |  |  |  |
| ７ | 【任意の指標】○○○○ |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 項　目 | 申請時 | 中間評価時（令和７年３月31日時点） |
| 内　容 | 達成状況 | 備　考 |
| ８ | 【任意の指標】○○○○ |  |  |  |
| ９ | 【任意の指標】○○○○ |  |  |  |
| 10 | 【任意の指標】○○○○ |  |  |  |
| 11 | 【任意の指標】○○○○ |  |  |  |

設定した目標以外の取組状況　※該当する項目がある場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 項　目 | 申請時 | 中間評価時（令和７年３月31日時点） |
| 内　容 | 達成状況 | 備　考 |
| １ | ○○○○ |  |  |  |
| ２ | ○○○○ |  |  |  |
| ３ | ○○○○ |  |  |  |
| ４ | ○○○○ |  |  |  |

【取組と成果】※目標の設定根拠、達成状況に係る分析や取組の成果について記載 |

|  |
| --- |
| **（３）事業計画の継続性（２ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **本事業により構築されたネットワーク型の教育研究体制や新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルが、補助期間終了後も取組の水準や規模を維持しつつ発展的かつ継続的に実施されるよう、将来を見据えた取組が行われているか。【事業計画の発展性・継続性】**
 |
|  |
| 1. **補助期間終了後の発展的かつ継続的な事業実施に向けて、学内外資金を確保するための方策を具体化するなど、自走化に向けた運営資金の確保に着手しているか。【資金的な事業計画の継続性】**
 |
|  |

|  |
| --- |
| **（４）事業成果の普及（１ページ以内）**進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| * 1. **本事業により構築されたネットワーク型の教育研究体制や新たな人文・社会科学系の高度人材養成モデルについて、導入する上での課題やその対応方法の整理がなされた上で、学内外への波及に向けた取組みが具体的に進捗しているか。【波及効果】**
 |
|  |
| * 1. **本事業の取組や成果、養成する人材像並びにプログラムの構想等について、Webサイト等による公表の他、報告会、発表会等の場を設けて、学内関係者のみならず学生や他大学、産業界等への教育情報の公表が積極的に行われているか。【教育情報の公表】**
 |
|  |

|  |
| --- |
| **（５）選定時に付された留意事項及び報告書等への対応（４ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **選定時において付された留意事項への対応を適切に行っているか。【選定時に付された留意事項への対応】**
 |
| 選定時において付された留意事項 | 対応状況 |
| ①●●●について…………………………………………すること。②●●●について…………………………………………必要である。 | ①●●●については……………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………と対応している。②●●●については……………………………………………………………………………………………………………………………………と対応している。 |
| 1. **フォローアップ報告書及び現地視察報告書において付された課題・意見への対応を適切に行っているか。【報告書等への対応】**
 |
| フォローアップ報告書において付された課題・意見 | 対応状況 |
| ①●●●について…………………………………………すること。②●●●について…………………………………………必要である。 | ①●●●については……………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………と対応している。②●●●については……………………………………………………………………………………………………………………………………と対応している。 |
| 現地視察報告書において付された課題・意見 | 対応状況 |
| ①●●●について…………………………………………すること。②●●●について…………………………………………必要である。 | ①●●●については……………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………………と対応している。②●●●については……………………………………………………………………………………………………………………………………と対応している。 |